

第二十二回帝國議會 鐵道國有法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十九年三月九日午前十時四十六分開議

出席委員左ノ如シ

長谷場純孝君 大岡 育造君
恒松隆慶君 北村 左吉君
牧野 元君 柳田 藤吉君
野田卯太郎君 中倉 万次郎君
奥野市次郎君 後藤 文一郎君
長 晴 登君 大石 正己君
武富 時敏君 根津 嘉一郎君
鈴木久次郎君 西村 丹次郎君
村松龜一郎君 井上 要君
大戸復三郎君 藻寄 鉄五郎君
南條吉左衛門君 岡田 治衛武君
安達 謙藏君 石塚 重平君
松本 恆之助君 淺野 陽吉君
早速 整爾君 大繩 久雄君
石田 貫之助君 板東 勘五郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望君
大藏大臣 法學博士 阪谷 芳郎君
農商務大臣 松岡 康毅君
陸軍大臣 寺內 正毅君
司法大臣 松田 正久君
逓信大臣 山縣伊三郎君

出席政府委員左ノ如シ

逓信次官 中小路 廉君
逓信省鐵道局長 山之内 一次君
逓信省鐵道局長 關 宗喜君
逓信省鐵道局長 山之内 一次君
逓信省鐵道局長 關 宗喜君

鐵道國有法案

京釜鐵道買收法案

○委員長長谷場純孝君 是ヨリ鐵道國有法案ノ委員會ヲ開キマス

○大石正己君 是ハ政府ノ方カラ何カ説明デモナサル譯デゴザイマスカ、ソレハ格別サウ

極デハ居ラヌノデスカ

○委員長長谷場純孝君 此法案ハ大體ニ付イテハ、去日本會ノ議場ニ於テ、總理大

臣ヨリ説明ニナリマシタカラ、特ニ説明ハ今シナイ、併ナガラ諸君ノ御質問ニ依ッテハ、御答

フスルト云フコトデアリマス

○大石正己君 此問題ニ付イテハ、軍事上及經濟上、竝ニ一般ノ政略ニモ關係ノア

ル問題デアリマス、或ハ憲法上ニモ關係ヲ及ボス問題アル、本員ハ茲ニ質問ヲ致シマ

スルガ、政府委員ノ方ニ於テモ、此問題ノ參考書、及過日ノ總理大臣ノ説明以外ニ、

十分ニ世間ノ疑ヲ解カレ、又此案ノ必要已ムヲ得ザル理由ヲ、十分親切ニ御説明ニ

ナッタ方ガ、餘程全體ノ議案對スル撈取方ガ便利デアラウ、殊ニ此案ハ繼續案ニシテ、議

會ヲ通過スト雖モ、實行上ニハナカク、困難ヲ感ズル問題アル、假令政府ガ變ッテモ

一旦決シタモノハ、之ヲ遂行セシナラヌト云フ場合ニ至ッテ、餘程十分ニ此必要ヲ頭ニ

國民ガ入レルニアラズンバ、實行上ニモ、甚ダ困難ヲ感ゼラル、デアラウ、故ニ私モ質問ヲ

致シマスガ、尙諸君モ御質問ニナラウ、當局者ハ十分胸襟ヲ披イテ、御説明ニナランコ

トヲ希望ス、私ノ問ハント欲スル點ハ、此案ニ付イテ政府ノ提出セラレタル理由ニ於テ、
或ハ國有ノ主義ニ於テ、日本ノ鐵道ハ、國有ニスベキモノデアルカ、國有ニナルベキモノデ
アルカト云フヤウナ説ガ、出テ居ルガ、之ハ國有民有ト云フ名ノ上ニ於テ、今日ハ餘リ重
キヲ置ク場合デハナイト思フ、詰リ國家ノ利益ニナリ、人民ノ利益ニナルナラバ、國有デモ
宜イ、又民有デモ宜イコトデアラウ、又民有ニシテ到底實行ノ出來ヌモノハ、或ハ外國ニ
於ケル朝鮮滿洲等ノモノハ、到底民營ニシテ之ハ力メルコトハ、出來ヌ場合ニハ、無論國
有ニシナケレバナラス、名ニ於テハ敢テ今日重キヲ置ク必要ハナイト考ヘル、併ナガラ當局者
ノ之ニヒドク重キヲ置カレテ居ルト云フモノハ、ドウ云フ理デアルカ、格別名ヲ爭フト云フ
趣意デハナイカト考ヘル、扱其問題ハソレト致シマシテ、一番將來此問題ニ付イテ、私ナ
ドノ理由ガアリトスレバ、一番理由ニ思ハレル點ハ何カト云フト、軍事上國防上カラノ點
カラデアル、所ガ之ニ付イテハ當局者ガ、マダ一向軍事上必要デアルト云フ意味ハ漏ラ
シテ居ルケレドモ、其必要ナル事項ト云フモノニ至ッテハ、世間二分テ居ラス、是ハ殊ニ陸
軍大臣ニ承リタイノデアル、今日ノ儘ニシテ此鐵道ヲ置ケバ、軍事上、國防上ニ如何ナ
ル危險ヲ感ズルカ、既ニ日清戰爭、日露戰爭ヲ經テ、軍事上ノ輸送ニ於テハ、内地ノ鐵
道ハ十分軍事の便利ヲ與ヘテ居ルモノト、吾々ハ信用シテ居ル、此點ニ於テ斯ウ云フ不
利益ヲ受ケタ、斯ウ云フ危險ガアッタト云フコトハ、未ダ聞カヌ、今日此民營ニ爲シ來ッ
居ルトコロノモノヲ、俄然トシテ之ヲ國有ニセンナラヌト云フ上ニ於テハ、餘程重大ナル軍
事國務のノ上ニ於テ理由ヲ見出サナケレバナラス、之ハ一ツ軍事上カラ十分ニ御説明
ニナッタナラバ、此案ノ通過ニモ餘程便利デアラウト思フ、吾々モ之ヲ聞カント欲シ、國民
モ亦此點ニ於テハ大ニ利害ヲ感ズル點デアリマスカラ、吾々が成程ト思フヤウ、十分御説
明ニナリタイ、軍事上今日ノ儘ニシテ、如何ナル危險ガアルカ、此日清戰爭、日露戰爭
ニ於テ、ドウ云フ不便利ヲ感シタモノデアル、或ハ今後斯ノ如クスレバ、大ニ軍事上、國
防上ニ利益ガアルト云フ點ヲ承リタイ、固ヨリ此軍事上、國防上ニ於テ交通ノ便ヲ握ッ
テ居ルト云フコトハ、之ヲ私立會社ニ命令下シテヤルヨリモ、或ハ多少便利ノ點ガアラ
ウト想像スル、併ナガラ之ヲ詰リ此利益ト損害トノ比較カラ起ル問題デアル、少シモ便宜
デアルカラ民營ニシテ置イタモノヲ之ヲ國營ニ至ラヌニハ立至ラヌデアル、何トナレバ鐵
道ダケ交通機關ト云フモノデハナイ、船モ交通ノ機關デアル、サウスレバ船モ政府ガ軍事
上、國防上持ッテ居ラナケレバナラヌガ、決シテサウハ往カヌ、スレバドウシテモ此鐵道ニ付

イテハ、軍事上ニ於テ此儘ニシテ置ケバ、將來ドウ云フ危險ヲ感ズルカ、或ハ是迄ノ實驗ニ依ッテドウ云フ不便利ヲ受ケタト云フコトハ第一ノ理由ニナラウ、ソレカラ政府ノ今一ツノ大ナル理由ハ、所謂經濟財政ノ上ニ國有ニスレバ便利デアル、利益デアル、斯ウ云フ譯デアル、併ナガラ經濟上カラ見タコロロ、之ヲ民營ノモノヲ國有ニスルト云フニ於テハ、餘程ノハ時期モアル、又日本ノ財政經濟ノ都合ニモ依リシ、餘程凡テノ此民營ヲ官營ニスルト云フマデニハ、十分ナルソコヘ理由ガ備テ來ナケレバ、ナカク出來ヌ、又此鐵道ノ法案ニ於テ、地方的ニ互ルモノハ、餘リ重キヲ置カレテ居ラヌヤウニ見エラガ、併ナガラ買收スル範圍ノ中ニハ、全國ノ鐵道ハ漏ラサズ含蓄シテ居ル、是等ハ軍事上ニ格別關係モアリサウモナイモノデアリマスガ、ドムモシナイ、コッチハ國家ノ利益ノ上カラ見テ、内地ノ鐵道ヲ必要ナリトシテ買收スルニシテモ、後廻シニシテモ宜イデハナイカト云フ觀念ガアル、此點ニ於テ當局者ガ殊ニ内地ノ鐵道ト云フ民設ノモノヲ買收スルコトヲ急グ、サウシテ外國ニ於ケル今日ノ時機逸スベカラズ、速ニ著手シ方針ヲ立テ、日本國民ヲ誘導シ、此方ノ起業ニ熱心ナラシムルノ必要アル方ハ、一向進歩シナイト云フコトニ於テハ、餘程大小輕重ノ差ハ、當局者ノ手心地ハ如何デアラウ、ト吾々ハ疑テ居ル、此際ニ是ノ如キコトヲ急イデセンナラヌト云フ理由ハ、餘程重大ナル理由ガナケレバナラヌ、殊ニ戰後ノ經營費上、最モ重モナル部分ヲ占ムルコトヲ、陸海軍ノ計畫方針ナド云フモノモ、未ダ立タナイ、立タヌガタメニ、財政整理ト云フモノモ、實ハ根本的ニ出來ナイ、見込ガ附カヌ、既ニ日露戰爭ニ依ッテ二十餘億圓ノ國債ヲ背負テ、一步ヲ誤レバ日本帝國ハ經濟上、内外ニ信用ヲ失ハントスル場合ニ於テ、此上ニ此間既ニ二三億圓ノ公債ヲ募ルト云フコトガアル、又此上ニ四億、五億ニ垂ントスルトコロノ公債ヲ發行スル、斯ウ云フコトニナレバ、詰リ此日本ノ財政ノ基礎ノ上ニ於テ、餘程危險ヲ天下一般ニ感ジテ居ル

此際此數億ノ國債ヲ發行シサウシテ經濟ノ基礎ヲ弱メルノミナラズ、寧ロ此募ルトコロノ公債ト云フモノハ、今マデノ經驗ニ依テ見レバ、過半ハ外人ノ手ニ出テ往クモノデアル、是ハ二年據置トアリマスルガ、據置イテモ後ハ發行スルモノハ、多分サウナッテ往クデアラウ、サウスレバ今ノトコロデスラ、此外債ノ元利ニ對シテハ、九千万、一億圓ノ金が出テ往カウト云フ場合ニ、尙此上日本ノ正貨ガ外ヘ流レ出ルト云フコトニナツタナラバ、日本ノ兌換制度ノ上ニ於テ、ドウ云フ結果ヲ感ジテ來ルカ、固ヨリ當局者ノ心當リニ於テハ、大抵豫防策若クハ兌換制度ヲ鞏固ニスルト云フコトニ於テ、十分成算ガアルコトデアラウト思フ、是等ノ點ヲ承ハリタイ、ソレカラモウ一ハ、此鐵道ヲ買收スルト云フ時機ト云フモノガ、法律上鐵道會社ニ特權ヲ與ヘテアルコロノ年限以内デアアル、是等ハ無論當局者ニ於テモ、憲法上、法律上、差支ノナイト云フコロヲ篤ト御調査ニナッテ居ルコトデハアラウト思ヒマスルガ、ソレヲ承ハリタイ、凡ソ此鐵道ノ民有、或ハ國有ト云フコトニ就イテハ、政府ガ豫テ此特權ヲ與ヘル際ニ、ソレヲ方針ヲ明カニシテ、ソレヲ承知シテ年限中ト雖モ約束ガアデモ、是ハ時機ガアツタナラバ、年限以内ニ強買セラレテモ仕方ガナイ、ト云フ何カ別段ノ約束ガアレバ免モ角デアリマスルガ、先ヅ今日ノトコロデハ、此年限ノ政府ガ契約ヲ表面破ッテ、強買スルト云フ結果ニ陷ルデアラウト思フ、是ハ成程軍事國防上、意外ノコトガ起ッテ來タ、例ヘバ日露戰爭ニ於テ、ドウモ非常ニ不便利ヲ感ジタ、是カラ先非常ノ危險ヲ惹起スト云フコトガアレバ、無論個人ノ權利會社ノ權利ト云フモノヲ、侵犯スルト云フコトハ、是ハ致方ガナイガ、左程ノ未ダ理由ヲ見出サヌトキニ方ッテ、此政府ガ契約ヲ破ッテ、法律上保障ヲシテアルモノヲ、侵犯シテ強買スルト云フコトハ、僅カノ損害ヲ蒙ルトカ、迷惑ヲスルトカ云フ會社個人ノ問題ニアラズシテ、隨分是ハ日本ノ文明ノ位置ニ影響スル問題デハナイカ、或ハ又一方カラ申セバ、總テ日本ニ於ケル資本家、或ハ此實業者ガ種々様々ノ事業ニ付イテ、此起業心ヲ是ガタメニ餘程傷ケルト云フ虞レハナイカ、無論此資本家ナド、云フモノ、事業家ナド、云フモノハ、新事業ヲ起シ大キナ事業ヲ目論ム場合ニハ、種々ノ危險ヲ冒シテアル、其時ニハ損ニナルモノモ、將來ノ利益ニナルヲ見込シテアル者モアラウ、是ハ今政府ガ迷惑ニナラヌダケニ、政府ノ豫定スルトコロ、若クハ此拂込建設費等ニ對シテ、餘程分外ト思フテ、宜イ直段デ買フテアルカラ差支ナイト云フコトデアアルカ、是ハドウモ見込デアアルカラ、政府ノ方デハ是ナラ迷惑ナイト思フデモ、買ハル、方ニ於テハ、決シテ満足ヲシテ居ラヌト云フコトガ起ッテ來ル、詰リ是ノ如キモノハ唯價ノ高下ト云フコトニアラズシテ、所謂其人ノ權利ニ屬スル以上ハ、損ガ往カウトモ儲カラウトモ、ソレデ満足スルモノデナイト云フ問題、斯ウ云フコトニ付イテ、強買ヲ行フト云フコトハ、餘程日本帝國内ノ事業ト云フモノハ、法律憲法保障シテアルモノモ、場合ニ依ッテハ危險ナリト云フ感念ヲ起サセルト云フコトハ、國家全體ノ上ニ於テ如何ナルモノデアラウ、是ハ甚ダ吾々ノ疑念トスル點デアリマス、是等ノ御見込ノトコロヲ承リタイ、且又鐵道ノ作業ト云フヤウナコトハ、ドッチカト言ヘバ、政治的副業トデモ云フカ、實ハ正則的ノ政務デハナイ、所謂准政務ト云フデモ宜イ位ノモノ所ガ從來日本ノ内治外交ノ上ニ於キマシテ、日本ノ智識ノ程度ト云フカ、イッレノ内閣ヲ問ハズ、此政府ノ正則的政務ノ上ニ於テ、隨分失敗ニ失敗ヲ重ネテ來テ居ル、正則的外交内治ノ上ニ於テ、實ハ失敗ヲラケテ、政治家ノ智識ノ程度ガ

マダ低イト云フデモ宜イ、此内閣ニ限ツテ一種飛拔ケタ、腦力ノ分量ヲ具ヘテ居ル
ト云フコトモ言ヘナシ、此上正則の政務ガ未ダ舉ラヌ内治外交ノ不振ノ位置ニ居
ル上ニ持ツテ來テ、此五千哩若クハ滿韓ノ鐵道ヲ合スレバ、段々是ハ延長シテ往
上ニ於テハ、一万哩ニモ達シマセウ、此副業ノ政務ノタメニ、又正則の政務ト云フモ
ノ、上ニ、餘程煩雜ヲ惹起ス、今デスラ遺憾ダラノ内治外交ノ失敗ノ上ヘ、又斯
ウ云フ煩雜ナ事業ヲ政府ハ澤山取込シテ、而モ鐵道ヲケデナイ、專賣ナドト云フモノガ近
來澤山出來テ、イロノナ民間ノ事業ヲ政府ヘヒタクツテ來ルト云フ結果ト云フモノ
ガ、愈々政府ノ仕事ガ煩雜ニナツテ來テ、一方ニ事業ノ成績ガ舉ラヌノミナラズ、政治
の事業ニ非常ニ滯滞ヲ來ス、今日デスラ行政上ノ敏活ヲ缺クト云フノデ、整理ヲ行ハネ
ハナラヌト云フ世間ノ輿論ニナツテ居ル場合ニ、愈々政府ノ仕事ト云フモノガ、繁雜ニ
ナツテ來タ、サウシテ鐵道事業ト云フモノハ、外國デハ大會社「マネージ」所謂運用上ニハ
經驗ト熟練、非常ナ人物ヲ以テスルニアラザレバ、其成績ハ宜シクナイト云フノハ、今日
歐米ノ鐵道會社ノ有様デアルガ、此政府ハ世界ニモ隨分稀ナル大會社ノ哩數ヲ持ツ一
ノ鐵道會社ヲ引受ケル結果ニナル、此結果ハドウモ双方ノ事務ガ舉ラヌヤウナ成績ヲ見
テハ、誠ニ遺憾デアルト本員ハ考ヘル、此點ニ於テモ政府ハ或ハ鐵道省ト云フヤウナモノヲ
置イテ、別ニヤル積リテアルカ、ソレニシテモ國家經濟ノ上カラ云ヘバ、今日マデ此日本ノ
鐵道ト云フモノハ、隨分此作業上ニハ經驗ノアル人ヲ養成シテ、隨分經驗ノアル人ガアッ
テ、今日デハ却テ私立會社ノ方ガ、政府ノ官業ヨリハ經濟的ニモ往ケバ、餘程其「マネー
ジメント」總テ運用上ニ巧ミヲ得テ居ル、經濟的ニ餘程ソレヲ廻シテ居ル場合デアル、其
場合ニ此民間ニ經驗アル折角何十年カ養ヒ來タモノヲ一切休止シテ置イテ、サウシテ
不馴ナ役人ニ事務ヲ扱ハセルコトニナレバ、其結果ハ國家經濟ノ上カラ云ウデモ餘リ
喜バシイコトデハナイト考ヘル、或ハ政府ガ鐵道ノ作業ニ付イテ、別ニ規則デモ設ケテ、或ハ
官吏ノ資格ノナイヤウデモ採用シテアル御考デアルカドウカ、要スルニ斯ウ云フヤウナ點デ
アリマスガ、箇條ヲドウスウハ申サヌ政府ノ政策上御見込ヲ、其意味ニ於テ今申スヤ
ウナ點ヲ十分ニ御説明ヲ承ハリタイノデアリマス

○内閣總理大臣侯爵西園寺公望君 唯今大石君ヨリ御質問ガゴザイマシタガ、種々
綜錯シテ居リマシテ、之ヲ順序ヲ逐ウテ一々御答フスルコトハ、甚ダ難イデアリマスガ、猶
其中ノ軍事上ノコト、又經濟上ノコト、或ハ鐵道運轉其他ノ此機會ヲ利用スルコトニ
付イテ、ナカノ大ナルモノデアル、重イコトデアル、政府ニ於テ之ハ如何ナル方法ヲ以
テスル考デアルカト云フヤウナコト、了解シタノデアリマス、是ニハ各陸軍大臣、大藏大
臣、逓信大臣等ガ出席ニナツテ居リマスカラ、又其擔當ノ主務者ヨリ申述ベルデアリマセ
ウガ、始メニ此鐵道國有ト云フコトハ名デハナシカ、名ニ拘泥シテ、之ヲ國有ニシタコ
ロガ、要スルニ名バカリデアル、國有ノ名ト云フコトハ別ニ重キヲ置クニ足ラヌデハナシカ、
俄然トシテ今日何モ國有ニスル必要ハナイト云フヤウニ承ツタデアリマスガ、是ハ本大臣
ノ本會ニ於テモ申シテ置キマシタ通りニ、之ハ名デナシノデアリマス、即チ我國ノ鐵道
政策ノ方針デアルノデ、即チ主義デアルノデ、是ハ度々申シマシタガ、此我國ノ鐵道ト云
フモノハ、國有ニスルト云フコトハ、明治ノ初年、即チ京濱ノ鐵道ヲ敷設致シマシタキ
カラ、其主義ヲ定メテ居ッタノデアリマシテ、既ニ本會議デ申シタコトニ外ナラヌデアリマ

ス、ソレカラ又今日此戰後經營多端ナトキニ何故ニ急イデ鐵道國有ヲ主張スルカ、其
外滿韓ノ經營ニハ、何分急イデシナケレバナラヌコトガ澤山アルダラウ、何モ今日シナイデ
モ、追々先キノ政治ノ方針ヲ立テツ、之ヲ行ツデモ宜イデヤナシカト云フヤウナ意味ニ
解釋致シマシタガ、本大臣ノ考ヘルトコロデハ、此戰後ノ經綸ノ之ガ基礎デアリマシテ、
一日モ忽セニスベカラザル、是ガ經綸ノ一ツデアルト確信致スノデアリマス、第一ニ斯ノ如
キ大軍ヲシマシテ大混雜ヲ起シタ後トデ、又借金ノ出來タ後トデ、何ガ一番大切カト云
ハ、即チ國民ノ力デアリマス民力ノ發達民力ノ勃興ガ第一デアル、此勃興ヲ圖リ此發
達ヲ圖ルハ、即チ今日ニ於テ一日モ早ク此鐵道ノ經綸ヲ起シテ、此基礎ヲ定ムルト云フ
ガ私ノ考ヘアル、ソレカラ又此言ハ今年ノ冬ニナツテモ、來年ニナツテモ宜イデヤナシカ
ト云フヤウニモ承リマシタガ、是ハナカノ今年ノ冬ニナリマシテハ、澤山戰後經營ヲシナ
ケレバナラヌコトガアル例ヘテ申シマスレバ、軍國於テ國防ノ經綸又唯今モ大石君ノ御話
ニナツタ通り、滿洲韓國等ノ經綸ハ、續々起ツテ來ル、之ハ決シテ延バセヌコトデアル、即
チ今年ノ冬ニ至リマシテ、是等ノ經綸ヲ起シテ、早ク國民ヲシテ其向フコロヲ知ラシメナケ
レバナラヌ、故ニ今日此鐵道ヲ國有ニ致シテ置キマセヌト、今年ノ冬ニナリマシテハ、ナ
カノ手ガ廻ラヌ急務ガ澤山眼前ニ湧イテ來ルカラ、鐵道ノコトハヤッテ居ラヌ、即チ私
ガ逸スベカラザル今日ガ機會ト申シタ所以デアリマス、其他ノ御質問ノコトニ付イテハ尙
同僚ヨリモ申スデゴザイマセウガ、尙私ノ足ラザルトコロハ度々御質問ヲ下サレバ、之ニ付
イテ御答辯ヲ致スデアリマス、先ヅ第一ニ是ダケ申シテ置キマス

○坂口仁一郎君 大石君ノ御質問ニ付イテ、他ノ大臣カラ御答ガナケレバ、私ニ發
言ヲ許シテ戴キタイ

○委員長長谷場純孝君 今陸軍大臣カラ御答辯ガアルサウデス

○陸軍大臣寺內正毅君 唯今ノ大石君ノ質問ノ御演說中、軍事上ノ關係ト云フコ
トデアリマス、私カラ大要御答ヲ致シマス、只今首相ノ述ベラレタ如ク、鐵道ヲ國有トスル
ト云フ必要ノ理由ノ一トシテハ、軍事ノ關係ト云フコトガ數ヘラレテ居ルと思ヒマス、此
鐵道ヲ國防ニ利用スルタメニ之ヲ國有ニシテ置キマナラヌト云フコトハ、御承知ノ通り
數十年日本デモ唱ヘタノデ、大概其議論ハモウ一般ノ人ガ承知シテ居ルノデアリマス、詰
リ簡單ニ之ヲ云ヘバ、恰モ全國ノ道路脈絡系統ノ上ニ付イテ、阻害スルコトノナイヤウニ
シテ、之ヲ有事ニ於テハ一絲亂レズ、中央デ使ツテ往ク、其材料ニ鐵道ヲ使ウト云フコト
ニ過ギナイノデアリマス、最モ此鐵道ヲ國防的ニ使フト云フ上ニ付イテ、是マデ議論ヲ致
シマシタコロニ依リマスルト、受身の國防ト、或ハモウ一ツ言葉ヲ設ケテ云シマシタナ
ラバ、打込シテ往クコロノ國防、此二ツガアル、即チ引受ケル國防ト、前ニ出テ往ク國
防トアル、此鐵道ノ内地ニアル鐵道ヲシタ、最モ國防ノ用ニ供スルト云フコトニナリマスル
ト、其關係ハ受身の國防ニ於テ最モ必要ヲ感ズルト思ヒマス、唯今申ス通り總テ脈絡
系統ヲ一ニシ、一絲亂レズ、鐵道ヲ恰モ手ノ指ヲ使フ如ク中央ヨリ之ヲ使用シ得ルコト
ハ兵力ヲ有利ニ用ヒ得ルノミナラズ、敵ニ向ツテ機先ヲ制スルコトモ出來マセウシ、總テ軍
事ノ上ニ有利ナルコトハ、爭フベカラザルコト、思フ、是ハ唯今申シタ如ク受身の國防
ニ最モ必要ガアリマシテ、又進出シテ國防ヲシマスルト云フ上ニ付キマシテモ、固ヨリ
此道路ヲ通ラナケレバ兵器材料ヲ送ルコトハ出來ヌノデ、其必要ノ程度ニ於テ同一

ニ感ズル譯アル、サウシテ先刻ノ御尋ニナリマシタ、二十七八年並ニ二十七八年ノ戰役ニ關シテ、鐵道ノ上ニ付イテハ二十七八年、二十七八年ノ戰役、何レモ總テ進出シテ國防ヲ致シタ、内地ニ於テ直チニ敵ノ攻撃ヲ受ケタコトハ一切ナカッタ、故ニ此内地ノ國防的ニ鐵道ハ必要ナリト云フ議論ハ、是迄屢々ゴザイマシタガ、其議論ヲ實驗スルコトハ出來ナカッタ出來ナカッタアリマスガ、是ヲ若シ實驗スレバ、必ず非常ニ不都合ヲ見ルト云フコトハ、明カデアリマシテ、若シ此鐵道ノ脈絡系統ガ統一シテナカッタナラバ、必ず不都合デアッタと思フ、併ナガラ國家ノ慶事トシテ、サウ云フコトハ實驗シナカッタノデス、外ニ向テ出マシタ上ニ就テハ、脈絡連續シテ居ラヌカラ、中間ニ船ト云フ一ツノ材料ヲ使ハナケレバナラヌ、總テ此船ト云フモノガ運輸材料ノ上ニ於テ、一番弱イ道アルトスルト、ソレガ元ニナッテ鐵道ヲ利用サレル譯ニナルノデ、ソコデ非常ナル不都合ヲ鐵道ノ上ニ見ナイト云フモノモ、内地デハ船ノ力ガ是デケノモノデアルカラ、ソレニ合スルヤウニ内地ノ準備ヲシテ、港灣ナラ港灣ニ持ッテ往ケバ宜シイ、斯ウ云フ計算ヲシテ往ケカラ、鐵道ノ不都合ト云フモノモ、ヒドク現ハレズニ濟ムデアリマス、詰リソレガ何カト云フト、一番力ノ弱イモノガ他ノ者ヲ制スル、サウ云フ譯デアルカラ、幸ニ此戰鬪ノ上ニ非常ナル違算ヲ生ゼズ、總テ計畫通り往キマシタカラ、鐵道ノ不都合ハ現ハレズニ濟ンダノハ、サウ云フ關係デアルト思ヒマス、ソレデ總テノ不便或ハ脈絡系統ガ一デナイタメニ今日先ヅ全國ノ諸會社ニ分レテ居ル鐵道ヲ統一のニ使フタメニ色々煩雜ノ規則ヲ設ケタリシテ居ルデアリマス、ソレヲ彼ノ郵便電信ト同一ノ形體ニ於テ、之ヲ政府ガ遣テ居ラヌナラバ、是デケノ混雜ヲ見ヌデアリマス、サウ云フ次第軍事ニ於テハ最モ此鐵道ヲ詰リ統一シテ置クト云フコトハ、將來我兵力ガ増加シテ往キマシタナレバ、我内地ニ於テ敵ヲ引受ケルコトハ萬無イデゴザイマセウ、萬無イデゴザイマセウガ、總テ國務ヲ計畫スル上ニ付イテハ萬無イコトモ、先ヅ算當ニ置イテ計畫スルガ必要ト思フ、又之ヲ進シテ外ニ用ユルニシテモ、違算ナキ計畫ノ上ニ大ニ必要トスルデアラッテ、兩様トモ軍事のカラ考ヘマシテ、固ヨリ是ハ必要ナル中ノ緊要ナルモノト考ヘテ居ルデアリマス

○大石正己君 政府デ鐵道ヲ有シテ居レバ、種々便利ガアラウト云フ御考デアリマスルガ、此現狀ノ儘ニシテ、軍事上不便ヲ感ズル點ハ、命令法律其他ノ手段ニ依ッテ、其不便利ヲ排除シテ遺憾ノナイヤウニ出來ヌモノデゴザイマセウカ、ドウカ其所ノ御見込ハ如何デスカ

○陸軍大臣(寺内正毅君) 唯今チヨット申上ゲマシタヤウニ、諸會社ノ鐵道ヲ連絡シテ使フタメニハ先ヅ此材料ヲ買上グルトキニ運賃ヲドウスルトカ、或ハ危險物ノ賃錢トカ、入ヲ送ルニドウスルトカ、總テノモノ、協定ヲシナケレバナラヌ、ソレカラ又全國ノ鐵道ヲ軍事のニ統一ニシテ使フツスルト、各會社ヨリ運輸擔當者ヲ出サナケレバナラヌ、ソレモ大キナ會社ハ格別、少サイ會社ハ二三合シタモノデ、代表者ヲ出ス、是等ト一々協定シナケレバナラヌノデ、是ハ頗ル不便デアル、是等ノコトハ今日マデ已ムヲ得ズ此數會社ヨリ成立ッテ鐵道デアリマスカラ、之ヲ有事ニ使フニ統一の制裁ヲ造ラナケレバナラヌト云フコトハ、數年間ノ議論デアッテ、漸ク四五年前カラ出來タ、サウ云フ次第デアリマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 唯今丁度私ハ貴族院ノ議事ニ出席致シテ居リマシタノデ、大石君ノ御質問ハ央バカラ御聽キシタノデ、財政上ニ關スル意見ヲ御問ニ

ナッタト云フコトデ、其點ニ付イテ御答致シマス此財政上ノ方ノ關係ハ、詰リ遞信大臣ノ計畫サレル戰役其他ノ計算表ガ出テ居リマスルガ、是ガ一番ノ基礎ニナリマスルノデアリマス、元來此度ノ大戰役ニ付キマシテ、戰役ノ經營ヲ立ツル上ニ付キマシテハ、國家ノ經濟ヲ發展セシムルト云フコトガ、一番肝腎ノコトデアリマスルノデ、段々講究致シマシタ上デ、國家經濟ヲ發展セシムルニ付イテ、最モ日本ガ缺點ヲ感ジテ居ルノハ、即チ交通運輸ノ點デアル、詰リ十八億モ借金ヲ致シ、將來此借金ノ始末ヲ付ケテ往ッテ、尙世界ノ進運ニ後レヌヤウニシナケレバナラヌト云フノニハ、非常ナル茲ニ經濟ノ發展ノ方法ヲ講ジテ往カケレバナラヌデアル、ソレハ申スマデモ無ク戰爭ニ依ッテ得タ勢力範圍ヲ擴張ト云フコトヲ利用シテ往クガ一番デアリマス、ソレニ就キマシテハ即チ我國ノ產物ガ、韓國清國ニ對シテ最モ迅速ニ、最モ廉價ニ輸出サレルト云フ方法ヲ講ジテ行カナケレバナラヌ、他ノ歐米ニ對シテモ固ヨリ其必要ヲ感ズルコトハ同ジデゴザイマスガ、就中韓國ニ對シ、清國ニ對シ、最モ廉價ニ、最モ迅速ニ、我輸出物ヲ運出スト云フ工夫ヲ立ナケレバナラヌ、然ルニ此從來ノ模様ヲ見マスルト云フト、船舶ノコト、申シ、又海陸軍連絡ノコト、申シ、甚ダ不完全デアリマス、而シテ此鐵道ト云フモノハ、ドウデアルカト云ヘバ、四十イックツカノ會社ニ分レ、今日工業家ガ其物品ヲ輸出致シマスノニ、殆ド運賃ト云フモノ、算定ノ仕樣ガナイ、有力ナル實業家ノ話ニ徴シテモ、運賃ガドノ位ニナルカト云フコトヲ算定スルコトハ、殆ド今日ノ組織デハムツカシイ、是ハ先年來戰時ニ政府ト實業家ト戰爭中、並ニ戰役後經濟上ニ付イテ胸襟ヲ披イテ各々談ヤウト云フ段々會モアリマシテ、其後貴衆兩院ノ方々モ前内閣ト戰爭其他戰後ノ經濟ニ付イテ、御話ガアリマシタガ、ソレニ付キマシテ尤モ注意ヲ喚起シタコロノ問題デアリマシタデアリマス、謂ハハ、今日ノ我國ノ物品ハ恰モ不用物品ノ拂下ケラスルヤウナ方法ニナッテ居ル、運賃モ分ラズ、又其物品ガ愈々何時ニ港ヲ出ルカト云フコトモ極ッテ居ラス、固ヨリ其外荷造リトカ、色々ノ點ニ於テモ改良ヲシナケレバナラヌ必要ヲ感ズル、ソレハ運賃ガ極ラヌト云フト、時ガ極ラヌト云フコトガアル、故ニ商業及工業ニ從事スル人々ガ、折角輸出ノコトヲ契約シテモ、此契約ノ履行ガ出來ナイ、古道具ノ拂下ケ見タヤウニシテ、何時デモ運シテ來ルト云フノデ、此運賃モ多クナッデ——割ヲ掛ケテ置カウト云フ物デアリマスレバ宜シウゴザイマスケレドモ、極ク機敏ノ競走ヲシナケレバナラヌノニ、商工業品ニ付イテ、斯ノ如クデアル、御承知ノ如クニ先年諸君カラ出マシタ蘭ノ運賃ノ問題ハ如何デアアル、實ハ實業家ガ望ムガ如ク解決ガ付カヌ、斯ノ如キ缺點ガアル、而シテ今後經濟上ノ戰爭ハ如何ニシテナシ得ルカ、武器ヲ以テノ戰爭ハ吾々ハ現ニ終ッタデアルガ、算盤ノ戰爭ハ如何ニスルカト云フコトハ、缺ケテ居ルデアル、是ニ於テ多年ノ宿題タル鐵道ヲ統一シテ、日本ガ今後當然得ベキ此勢力範圍ヲ擴張シタル場合ヲ利用シテ、大ニ働クコト、內國ノ鐵道、韓國及滿洲ニ於ケル鐵道ヲ十分便利ニスルト云フコトガ、一番緊要ナル問題トナツタデアリマス、尙ソレニ付イテ遞信大臣ニ於テモ多年ノ宿論ニ依ッテ、既ニ調査セラレタモノモアッデ、ソレノ計畫ヲ立テラレテ、當局ト御協議ニナツタコトデアリマシテ、其計算ニ依ッテ見マスレバ、此鐵道ヲ買收シテ、イッデモソレガタメニ國家ノ負擔ヲ増スコトハナイ、詰リ民有ガ官有ニ變ル、其官有ニ變シタガタメニ國民ガ租稅ノ負擔ヲ出スト云フコトハナイノデアル、ノミナラズ四十ヶ年バカリ經ツト、公債ハ償還シ終

ル、又公債ヲ整理シテ、低利ニ借換ヘスルト云フ勘定ハ、先ヅ假リニナシテモ、四十
ヶ年ノ中ニハ殘ラズ公債ノ元利ヲ償却シテ、五千六七百萬圓ノ收益ガ國家ニ増スト云
フ計算ニナルデアリマス、此計算ト云フモノガ間違ヒナリト云フコトナレバ、固ヨリ財政
ノ方ノ關係ハ、崩レテ參リマスケレドモ、此計算ガ基礎トナッテ論ジテ見ルト云フト、唯今
申シマス如ク經濟上ニ至大ノ關係ノアル問題デアリカラ、今日之ヲ決定シテ、將來ハ我
國ノ發展シテ往クトコロノ方法ヲ講ズルコトニ付キマシテ、最も緊急ナコトデアラウト考
ルデアリマス、成程公債ヲ増加スルト云フコトハ、今日ノ場合決シテ喜ブベキコトデナ
コトハ勿論ナシテ、財政當局者トシテハ、一枚デモ公債ノ殖エルコトハ禁物デアリマス、
併ナガラ此公債ト云フモノハ、即チ實力アル公債デアッテ、空ノ紙デハナイ、租稅ヲ徵
シテ元利ヲ拂フト云フ公債デハナイ、煙トナル公債デハナイ、詰リ茲ニ幾億ノ公債ガ
出デモ、ソレダケノ財產ヲ收得スル公債デアアルデアリマスカラ、所謂實力アル公債デ
アル、公債ノ性質トシテハ最も良イ性質ノ公債デアアル、ソレ故ニ今ノ遞信大臣ノ採ラレタ計
畫ガ十分堅イモノデアラナラバ、此公債ト云フモノニ付イテハ、信用ハ、十分強イモノデ
アル、此度ノ計畫ニ依レバ、此鐵道ヲ殘ラズ買収シタ以上、一ツノ特別ノ會計ガ出來テ、此
特別ノ會計ノ中デ、公債ノ元利ヲ拂フテ往クト云フ計畫ニナッテ、尙其改良モ特別會計
ノ收支デヤッテ往クト云フコトニナリマシテ、鐵道ノ利益ヲ發展シテ往ク上ニ付イテ、最モ
安全デアアル、此公債ヲ所持スル人ハ何等危惧スルトコロハナイデアリマス、斯ノ如キノ方
法デゴザイマスカラ、此鐵道ノ國有ト云フコトガ實施セラレマスタメニ、財政ノ上ニ負擔ヲ
増ストカ云フ懸念ヲ起スコトハ、私ハナイト思フノミナラズ、經濟ヲ發展スルト云フ力ハ、
大ニ茲ニ加ッテ往クノデ、特ニ是ガ即チ將來ニ於テハ國家ノ財政ノ力ヲ養フテ往クトコロ
ノ基ヲ爲スデアアル、而シテ商業家、工業家ハ各市場ニ向ッテ、最モ便利ニ產物ヲ持ッテ往
クトコトガ出來ルデアリマス、併ナガラ尙茲ニ一ツノ疑ガ起ルノハ、新公債ヲ増スト云フ
ト、所謂市場ニ超過スル——市場ノ需用ニ超過スル影響ハナイカ、是ハ最モ懸念シナ
ケレバナラヌノデ、總テ財政ノ上ニ於テ如何ナル善イ公債ト雖モ、一時ニ出ルノハ甚ダ禁
物デアリマス、故ニ即チ此法律ノ上ニ於テハ五箇年以内ニ買収シ、尙一箇年以内ニ公
債ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得ト云フ規定ニナッテ居リマシテ、即チ七箇年ノ年限ト云フ
モノガ法律上ニ於テ猶豫ヲ見テ居リマス、即チ市場ノ景況ヲ見テ徐々ニ發行シテ往クコ
トガ出來ルデアリマス、而シテ是ハ多クノ仕事ノ上ニ於キマシテハ、政府モ亦相當ナル
力ヲ備ニテ掛ラナケレバナラヌコトデアアル、民間ノ實業家トモ相談シヤウシ、外國ノ實業
家トモ相談シテ、政府ガ相當ノ力ヲ以テ掛ル仕事デアリマシテ、公債ヲ遠ニ出スコトモナ
イ、唯之ヲ極端ニ捉ヘテ論ズルト、一時ニ何億ト云フ、公債ト云フ聲ニ驚キマスガ、實
際ノ方法ニ依ッテ論ジテ見レバ、サウ云フ心配ハ起ラヌ、ソレカラ正貨ノ收支——正貨
ノ收支ガ如何ニナル、正貨ノ收支ガ公債ガ増シテドウナルカト云フ御尋ガアリマシタガ、是
ハ即チ正貨ノ收支ガ宜シクナルト云フ考カラ出テ居ルデアリマス、將來ニ於キマシテ經
濟ノ發展ト云フ上ニ係ッテ、貿易ノ平均ヲ宜クスルト云フコトガ、最モ必要デアアル、成程
戰爭中ノ如ク始終輸入ガ超過スルコトデアッテハ、餘程是カラ先キ日本ハ難儀ヲシナケレ
バナラヌケレドモ、戰爭中ト云フモノハ軍需品ヲ多ク買ハナケレバナラヌト云フ茲ニ困難
ガアッテ、戰爭ガ濟シタカラ軍需品ノ買入ガナクナッテ來ル、而シテ後トハ何ガ殘ルカト云

ヘバ、十八億ノ借金ノ元利ガ茲ニ殘ルデアリマス、此十八億ノ借金ノ元利ガ、是モ外
國ニ出テ居ル分ニ對シテ正貨ヲドウシテモ要スル、其正貨丈ノモノヲ貿易ノ上テ取ラナケ
レバナラヌ、ソレ故ニ日本ノ經濟ノ發展ヲ求メル必要ガアルノデス、ソレ故ニ交通運輸ノ
便利モ圖ラナケレバナラヌデアリマス、若シ正貨ノ收支ガ困ルト云フコトデアレバ、鐵道
國有問題ガ無クとも困ルト言ハナケレバナラヌ、況ヤ國有ニシナイデモ、外國人ハ現ニ鐵
道株ヲ買ヒツ、アル、各會社ハ銘々勝手ニ社債券ヲ募リツツアルデアアル、今成立ッテ居
ルノモアリ、又相談中ノモノヲ入レテ參レバ、ソレハ段々殖ヘルデアアル、シテ見ルト同ジコト
ニナル、國有ニナッテモ同ジコトデス、既ニ其勘定ニ於テ同ジコトニナラバ、國家ガ經濟
上ニ於テ最モ便利トスル利器ヲ握ッテ、將來經濟發展ノ基礎ヲ造ルノガ必要デアナイ
カ、或ハ大石君ノ質問ヲ多少誤解シテ居ルカ知レマセウガ、財政上ノ關係ヲ言ヘバ、右
ノ如クデアリマシテ、要スルニ鐵道ト云フモノハ適當ノ値段デ買ヘ、收支ト云フモノガ、今
ノ計算デ出來テ居ルモノガ確實デアラナラバ、ソレガ何ヨリ本デス、鐵道ノ經濟ハ統一
シタガ宜イカ、分離シタガ宜イカト云ヘバ、統一スル方ガ宜イニ違ヒナイ、ソレガ根本デ、ソ
レヲ皆サンガ御認メニナラバ、アトハ枝葉ノ問題デ、其順序方法ハイクラモ手段ガアルト
信ズルデアリマス、此段……

○大石正己君 序ニ遞信省ニ係ルコトヲ遞信大臣カラ御序ニ伺ヒタイ、官有ニナレバ
運賃デモ引下ゲルト云フ如キ說明書中ニモチヨットサウ云フコトガアッタガ、如何デアルカ、
或ハ狹軌道ヲ變ジテ、廣軌道ニスルト云フ御見込デアアルカ、運輸ノ總テノ方針ニ付イ
テ御說明ニ與リタイ

○遞信大臣(山縣伊三郎君) 唯今ノ御尋ノ點ヨリ第一ニ御答シマセウト思ヒマス
ガ、此總テノ鐵道ヲ買収シタル上ハ、運賃ハ無論廉クナルコトニナリマス、遠距離ニ於
テハ無論ノコト、又直通運輸ノ如キ、非常ニ便利ヲ得ルコトデアリマセウカラ、其邊ノ點
ニ於テハ前カラ考ヘマスレバ、無論運賃ハ廉クナルデアリマス、其運賃ニ付イテハ唯今
調査シテ居リマスカラ、ドウ云フ割ニナルト云フコトモ、此委員會開會中ニハ凡ソ申上
ゲルコトモ出來ヤウト思ヒマス、ソレカラ總テノ私設鐵道ヲ國有トスルヤウニ見エルガ、其中
ニハ不利益ノモノモアルガ、利益アルモノダケニシテ置イタナラバ、經濟上大ニ都合ガ好イ
ダラウト云フコトモアッタヤウニ考ヘマスレバ、之ヲ利益アル線ダケニ止メマスレバ、例ヘバ此
幹線ノ如キモノハ無論宜カラト思ヒマスガ、是ハ利益アルモノト利益ナイモノト一緒ニシ
テ遣ラナケレバナリマス、一體國有主義ト云フノハ、官ニ於テ不利益ノ所モ、十分
敷設シテ往ク、而シテ產業ノ發達ヲ計リ、運輸ノ便ヲ計ルト云フコトニナルデアリマス
カラ、無論不利益ノ線デ、將來有望ナモノハ益ニ計畫シテ往クコトニスル積リデアリマ
ス、ソレカラ私設鐵道法ニ二十五年ト期限ヲ定メテ置イテ其期限ノ滿タル以前ニ買
收スルノハ、或ハ私權ヲ蹂躪スル嫌ハナイカト、是ハ無論サウ云フ事ハ無イト信ジマス、
國家ノ必要ト認メテ、ドウシテモ之ヲ遣ラナケレバナラヌト云フコトハ、公用ノ徵收ト云フ
コトハ、法律ヲ以テ出來ルコト、考ヘテ居リマスカラ、此點ハ敢テ差支ナイト、斯ウ信ジ
テ居リマス、又此議會ニ於テモ、是マデ度々國有トスルト云フ議論ガアリ、又法律案モ
出タデアリマス、其際ニ於テモ別段憲法カラ言ッテドウ斯ウト云フ說モ無カッタヤウニ存
ジテ居リマス、ソレカラ買収シタ曉ニ後ノ經營ヲドウスルカ、其點ガ甚ダ不安心デアルト

云フヤウニ承リマシタガ、是ハ今日私設デモ官設ヨリモ宜イ所モアリ、又官ノ方デモ私設ニ優テ居ル所モアルデアリマスガ、將來ハ無論其邊ノコトハ十分ニ注意シテ、決シテ是マデノ私設ノ良イ點ニ劣ラヌヤケノコトハヤテ往ク積リデアリマス、此鐵道省ヲ置クトカ、或ハ他ノ方法ヲ以テ監理スルコト云フヤウナコトハ、唯今調査シテ居テ確定シテハ居リマセヌガ、私ノ考デハ鐵道省ナドハ置カズシテ、先ツ鐵道總裁ト云フヤウナ者ヲ置イテヤラウカト云フ考ヲ持テ居リマス、ソレカラ唯今會社ニ從事シテ居ルコロノ多數ノ吏員ナドハ、是ハ其是カラ先キ矢張此運轉ヲシテ往クニハ人モ要ルコトデアラウト思ヒマスカラ、或ハ特別任用ニ依テヤリマスカ、兎ニ角其邊ノコトハ差支ナイ限り、今日從事シテ居ルコロノ者ヲ用井テヤリタイト考ヘテ居リマスガ、其邊モマダ極テ居リマセヌ、逕信省所管ニ關スルコトハ先ヅ其位ノコト考ヘマス

○大石正己君 軌道ハドウデスカ、狹軌ヲ廣軌ニスルト云フコトハ

○逕信大臣山縣伊三郎君 是ハ唯今狹軌カ宜イカ、廣軌ガ宜イカト云フコトハ調ベテ居リマスガ、廣軌ニスレバ御承知ノ通り非常ニ金ガ掛ルコトデアリマスカラ、其邊ハマダ財政ノ都合モ考ヘテ見ナケレバナラヌト思フデ居リマスガ、兎ニ角廣軌ガ宜イト云フコトニハ、無論極テ居ルコト、信ジマス

○加藤政之助君 只今大石君ノ質問ガゴザイマシタノデ、餘程分リマシタガ、私ハ尙三ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、第一ハ總理大臣ノ御説明ニ依リマス云フコト、鐵道國有ト云フコトハ我國ノ維新以來ノ終始一貫ノ方針デアルト云フコトノ御話ガアツタヤウデゴザイマスガ、私ハ左様デナイ事實ガアルト思フデアリマス、ソレハ何故デアルカト云ヒマス、現ニ北海道炭礦鐵道ノ如キ、政府ガ經營シタ所ノモノヲ國民ニ廉イ値段テ拂下ゲテ、而モソレヲ今日買上ゲナケレバナラヌト云フ、サウスルト事實ハ鐵道國有ハ終始一貫ノ主義ダト云フコトニハ、吾々信用ガ出來ヌ、是ハ取除ノ場合デアツタカ、ドウデアツタカト云フコトヲ承リタイ、ソレカラ鐵道ヲ統一シテ貿易ノ發展ヲ圖ル、是ハ如何ニモ御尤モノ論デ、私モサウアリタイト思フ、サウアリタイト、思フガ併シハ鐵道ヲ國有ニスルカ、民有ニスルカト云フコトノ區別ニ依テ、ソレガ分ルモノデハナカラウト思ヒマス、隨分民有デモ統一スレバ出來ナイコトハナカラウト思ヒマス、出來ヌコトハナカラウト思ヒマスガ、要スルニ此貿易ヲ發展スル用ニ鐵道ヲ供シヤウト云フナラバ、是ハ私ハ唯今大石君ガ質問ノアツタ通り、無論之ヲ廣軌ニシテ、若ハ複線ニシテ、サウシテ運輸ノ便利ヲ圖リ、交通ノ便利ヲ圖ルト云フコトガ一番ノ主眼デハナイカト思ヒマス、唯之ヲ國有ニシタラ、ソレガタメニ統一ガ着イテ、ソレデ貿易ノ發展ガ十分出來ルト云フコトハ、私ハ信用ガ出來ナイト思ヒマス、現ニ我國ノ鐵道ノ如キハ(議論ダ)ト呼フ者アリイヤ、議論デハナイ、僅カニ五噸積ノ汽車ガ二十カ二十ホカ曳ケナイト云フ、憐レナ有様デアルガ、果シテ政府ガ之ヲ廣軌ニスルト云フ方針ガ決定シテ、將來明言サレテ實行スルデアルカ、若シソレヲセラル、ノデアルトスルナラバ、是ハ巨額ノ金員カ要ルデアラウト思ヒマス、我國ノ國力が無限デアツタナラハ、サウ云フコトモ今日出來ルデアリマセウ、所ガ國力ハ無限デナイ、現ニ之ヲ買フニ付イテモ少シノ剩餘金ガアルデハナシ、全ク公債ヲ以テ買上ゲナケレバナラヌト云フヤウナ境遇デアリマス、然ルニ政府ハ其幹線ダケヲ統一シテ買上ゲテ、サウシテソレヲ改良デモスルナラ免モ角デアルガ、幹線バカリデハナイ、支線ノ寧口利益モナイ、値打ノ

ナイトコロノ鐵道マデ併セテ買上ゲルト云フコトハ、寧口之ヲ廣軌ニシ、若クハ複線ニシテ、交通運輸ノ便ヲ圖ルト云フ方針ニ悖反シタコロノ處置デハナイカト思ヒマス、政府ハ斯ウ云フコトヲシテモ、尙複線ニシ、廣軌ニスルト云フコトノ餘裕ガアルト御認メニナッデ居ルカ、ソレカラ支線マデ買上ゲルト云フ方針カラ見レバ、政府ハ一切ノ鐵道ヲ總テ國有ニシテシマツテ、將來ハ民設ヲ許サナイト云フ方針ノ如クニ吾々ハ考ヘラレマスガ、果シテサウ云フ方針ガアルカ、尙之ヲ買上ゲシテモ、人民ガ私設ヲ出願スレバ、自由自在ニ許スト云フ御見込デヤツタカ其點モ承テ置キタイ、而シテ此政府ノ提供サレタコロノ參考書ニ依ッテ見マス、鐵道ノ改良費ハ四十箇年ノ間ニ一億六千萬圓ト云フコトデアリマスガ、四十箇年ノ間ニ壹億六千萬圓ト云フ金額ハ、誠ニ微々タル金額デア、斯ノ如キ金額デドレダケノ改良ガ出來ルカ、私ハ殆ド國有ニシテ政府ガ鐵道ヲ改良シテ、運輸交通ノ便ヲ圖ルト云フコトニ副フダケノ働キガ、十分爲シ得ルデアルカ、ドウデアルカト云フコトヲ甚ダ疑フデアル、政府ハ此僅カノ金デ、ソレダケノ望ヲ達スルコトガ出來ルト云フ斷乎タル信念ヲ持ッテ御出デニナルデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、現ニ既往ノ經歷ヲ考ヘマス、我國ノ鐵道ハ明治初年以來、殆ド二十年間バカリデアラウト思フ、三十ヶ年ニ政府ガ今日四億七千萬圓ト云フ金ヲ投ジテ買上ゲナケレバナラヌト云フ如キ大事業ヲ人民ノ力ニ依ッテシテ居ルデアル、斯ノ如キ大事業ヲ人民ノ力デシテ、居ルノニ、政府ガ此鐵道ヲ買上ゲテシマツテ、將來ハ四十箇年ノ間ニ壹億六千萬圓ヲ入レヤウト云フデアル、サウスルト民間デ三十箇年ニヤツタ仕事ノ三分ノ一カ、ソコヲ四十箇年ニスルト云フコトニナツテ、此鐵道ヲ買上ゲテ政府ガ經營スルト云フコトハ、寧口鐵道ノ發達、鐵道ノ延長、鐵道ノ改良ト云フモノヲ阻害シテ、國運ノ發達ヲ止メルトコロノコトニ寧口ナリハシマイカ、政府ノ言フトコロノ説明ト相反シタ結果ヲ生ズルデアラウト思フ、之ガ何故ニ戰後經營ノ第一段トシテ、貿易モ發達シテ、外國ノ資本モ這入ルト云フ如キ望ヲ屬スルトコロノコトニ、ドウシテ一億六千万圓ノ金ヲ入レテナルデアリマセウカ、私ハ此點ニ付イテ非常ニ疑ガアルデアリマス、此點ニ付イテ政府ノ説明ヲ明カニ請ヒタイト思フ、ソレカラ、此向フ五ヶ年間ニ鐵道ノ買上ゲト云フコトデアリマスガ、一旦鐵道ヲ買上ゲルト云フ方針ガ極ッテ、五ヶ年ノ間ニ實行スルト云フコトニナルト、人情ノ然ラシムルトコロ、凡テノ鐵道會社ハ是ガ修繕モシナイ、改良モシナイ、設備モシナイ、成ルベクソレ等ノコトヲ省クト云フノハ、自然ニ起ル結果デアラウト思フ、デ之ヲドウシテ政府ハ制止スルコトガ出來ルカ、果シテ私ノ心配スル如ク、設備モ不完全デ、改良モシナイト云フコトデ、五ヶ年過ギタナラバ、ソレヲ愈々政府ガ引受ケタ曉ニハ、非常ナ違算ガ起リハセヌカ、政府ガ引受ケタ曉ニハ改良ヲ加ヘ、大設備ヲシテ澤山ノ金ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトガ起リハセヌカト云フ心配ヲ私ハスル、此點ハ政府ハ如何ニ考ヘテ居ルカ、ソレヲ明カニ説明ヲ請ヒタイ、ソレカラ尙大藏大臣ノ説明ニ依リマス、私ハ意見ガアルデアル、大藏大臣ノ説明ヲ聞クト、縱ニ公債ガ花増額シテモ、其結果外國人が買フカモ知レヌ、外國人がヨシ買ツタトコロガ、ソレハ一向心配ニハ及ナイデアル、今デモ現ニ外國人が鐵道ノ株券ヲ買ヒツ、アル、若クハ鐵道會社ガ外國カラ資本ヲ入レツツアルデアル、ソレガアル以上ハ殆ド同ジコトデハナイカト言ハレルガ、今日各鐵道會社ガ資本ヲ外國カラ入レルト云フノハ、是ハ何ニ使フデアリマセウ、舊借金ヲ填メルト云

フコトニ使フノアリマセウカ、私ハサウデナイト思フ、多ク外資ヲ入レル場合ニハ、鐵道ヲ延長シ、鐵道ヲ改良スルコト云フコトニ金ヲ使フノデアルト思フ、然ルニ今度ノハ何デアルカ、私設ノ鐵道ヲ四億七千万圓ヲ買上ケルト云フ金デアル、是ハ政府ガ買ツテモ買ハヌデモ、私設ノ鐵道ハソレダケノ働キヲナシツ、アル、ソレダケノ利益ヲ見ツ、アル、ソレハ現ニ將來改良ヲ設備加ヘル延長ヲスルト云フタメニ借入金ノ利息ヲ外國ニ拂フ場合ト、此私設鐵道ヲ買ツテ公債ヲ發シテ、ソレヲ外國人ニ買ハレテ、正貨ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ場合トハ、之ガタメニ損ヲスルデアラウト思フ、大藏大臣ハ是ハ懸念スルニハ及バヌト云フケレドモ、私ハ斯ノ如キコトヲ致シタラバ、公債ハ自然下落スルデアラウト思フ、下落スレバ利廻リガ宜カラ、外國人ガ買フ、買ヘバ其利子ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトガ起ル、起レバソレ丈ノモノハ外國人ニ拂フト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、私ハ此點ニ於テモ非常ニ懸念スル、大藏大臣ハ何故ニ之ヲ懸念セラレナイト云フノデアリマスガ、其點ノ説明ヲ承リタイノデアリマス、私ノ質問ハ是丈止メマスガ、序ニ私ハ政府ニ求メテ置キタイノハ、參考トシテ官設鐵道ノ一哩ノ營業費ハイクラニ當ッテ居ルカト云フコトヲ承リタイ、又今マデノ官設鐵道ノ資本ノ總額ハ、ドレ丈ニ當ッテ居タカト云フコトモ承リタイ、又官線ノ一哩ノ營業費ヲ引イテ純益ト云フモノハ、今日一哩總額ガドレ丈ニ當ッテ居ッテ、官線ノ建設費一哩ガイクラニ當ッテ居ルカ、此點ヲ參考ノタメニ承リタイノデス

○遞信大臣山縣伊三郎君 御答致シマスガ、此廣軌、狹軌ト云フコトニ付イテハ、唯今大石君ニ御答ヲシタヤウナコトデアリマシテ、之ヲ廣軌トスレバ、輸送力ノ點カラ言ヘバ無論宜イコトデアリマスガ、唯今之ヲ廣軌ニシテ、複線ニスルト云フコトニ付イテハ、無論極デ居リマセヌカラ、其點ハ別段今御答ヲスルコトハナイト云ウテ宜シウゴザイマス、ソレカラ私設デモ統一ガ出來ルデハナイカ、何故國有ニスルカト云フコトデアリマスガ、是ハ御意見デアッテ、私共ハ國有ニスルニアラズンバ、鐵道ハ到底統一シテ十分ナル働キヲナスコトハ出來ヌト信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ四十年十分改良ガ出來ルヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、此點ニ付イテハ私ハ別ニ計畫スルトコロガアッテ、今調べテ居リマスルガ、將來如何ニ之ヲヤッテ往クカト云フコトハ、目下調査中デアリマスカラ、其點ニナルト又財政當局者トモ十分相談ヲシナケレバナラヌコトデアラウト思フ、目下未定デゴザイマス、調査中デゴザイマス、ソレカラ五年内ニ買收スルト云フコトニ付イテハ、其間今ノ鐵道改良モシナイ、設備モシナイ、又ハ其鐵道ヲ非常ニ虐使スルデアラウ、斯ウ云フ御疑ガアルヤウデアリマスガ、此點ハ或ハサウ云フコトガアルカモ分ラヌデアリマスガ、併ナガラ之ヲ十分ニ監督シテ、サウ云フコトノナイヤウニ努メル積リデアリマス、是ハ無論サウ云フコトノナイヤウニ致スノデアリマス

○加藤政之助君 方法ハドウ云フコトニスルノデアリマスガ

○遞信大臣山縣伊三郎君 其方法ト云フハ、即チ今ノ監督方法ニ付イテ、ドノ點ブドウスルカト云フ、斯ウ云フ御尋デアリマスレバ、ソレノ又主任カラ申上ケルコトニ致シマセウカ……

○加藤政之助君 改良スベキ所ヲ改良シナイデ、成ルベク金ヲ入レナイデ延バシテ置クト云フコトヲヤッテ、ドウシテソレヲ監督サセルカ、又金ヲ出スカト云フノデアリマス

○遞信大臣山縣伊三郎君 其點ハ私ハ不慣レデアリマスカラ、イブレ主任ヨリ十分説

明致スコトニ致シマス

○加藤政之助君 ソレカラ民設ヲ許サヌ積リデアルカト云フノデアリマス

○遞信大臣山縣伊三郎君 是ハ此法案ノ第一條ニ一般運送ノ業ニ供スル鐵道ハ、總テ國ノ所有トストアリマシテ、但書ニ「一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ此限リニアラズ」此法文ニ依ッテ、一般ノ運送ニ供スルモノハ總テ許サヌ積リデアリマスガ、唯一局部ニ止ッテ、或ハ其地方限リノコトヲヤルト云フモノハ許サヌ積リデアル

○加藤政之助君 地方限リト云フノハ、ドノ位ノ區域ヲ言フノデスカ一般ト云フノハドレ位ノモノヲ云フノデスカ

○遞信大臣山縣伊三郎君 ソレハ例ハ炭山ガアッテ、其炭坑カラ炭ヲ出ストカ、或ハ其沿道ニサウ云フモノガアッテ、其タメニヤルトカト云フヤウナモノヲ指スノデアリマス

○政府委員山之内一次君 唯今加藤君カラ御質問ニナリマシタ中ニ、五ヶ年置クト云フト、修繕ヤ何カ意ッテ大ニ虐使スルコトガアッテ、政府ハ詰リツマラヌモノヲ引受ケテ、非常ニ國損ニナルコトガアリハセヌカ、ソレ等ノモノニ付イテハ、ドウ云フコトヲスルヤト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ遞信大臣ヨリ主任ノ者ニ答ヲサセルト云フコトデアリマスカラ、私ヨリ御答ヲ致シマスガ、加藤君ヨリ御話ノヤウナコトハ、之ヲ長ク延バシテ置キマスルト人情トシテサウ云フコトニナリ得ベキコトデアラウト思ヒマス、ソレニ付イテハ今日、監督ノ任ニ當ッテ居ルトコロノ遞信省ニハ、鐵道局ト云フモノモアリマスルシ、又此買收ヲサレマスルニ付イテハ葉煙草專賣ノ如ク、煙草製造所ヲ買收サレル時分ニヤラレマシタ如ク、矢張此鐵道買收局ト云フモノガ出來テ、ソレニ當ルコトガ出來ルト思ヒマス、今日マデノ鐵道局ト其買收局トガ力ヲ協セマシテ、十分ナル監督ヲスル積リデアリマシテ、漫リニ修繕ヲ怠ルトカ、何トカ云フ時分ニ、ソレノ命令ヲシテヤラセル積リデアリマス、必要ナル改良等ヲ怠ツタキニモ、命令ヲシテヤラセルノデアリマス、ソレ如何ニ命令シテモ、到底之ヲ用井ナイ時分ニハ、官ガ自カラ會社ノ費用ヲ以テ經營ヲシテ、サウシテ其會社ノ費用デアル途モ、私設鐵道法ニ許シデアリマスカラ、ソレ相應ノ取締ハ付ク見込デアリマス

○委員長長谷場純孝君 諸君ニ御相談シマスガ、此處デ暫ク休憩シテ午後ニシテハ如何デアリマスガ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレハ暫ク休憩シテ午後一時ヨリ開會致シマス

午後零時十分休憩

午後一時十八分開議

○委員長長谷場純孝君 午前二引續イテ委員會ヲ開キマス

○加藤政之助君 先刻質問シタ大藏大臣、總理大臣カラ答辯ガアリマスレバ、其答辯ヲ聽イテ尙……

○委員長長谷場純孝君 大藏大臣ハ今出席ヲ請求シテ居リマスカラ、モウ出ラレマセウ、總理大臣ハ今日ハ公務上午後ニハ據處ナイ事故ガアリマシテ、出席セラレヌト云フコトデアリマス

○加藤政之助君 ツレデハ遞信大臣が居ラレマスカラ、其關係ノ質問ヲ致シマス、先刻各大臣が答辯セラル、ガ如ク、鐵道國有トシ、以テ日本ノ物產ヲ發達シ、貿易ヲ發展セシムルコト云フコトデアリマスガ、果シテツレデアリマスナラバ、鐵道ヲ今マデ敷設シテナカッタ所へ延長シテ、益々哩數ヲ多クシテ、不便ノ土地へ便利ヲ與ヘ、今マデ出ナカッタ產物ヲ廉クシテ出スト云フコトハ必要デアラウト思フ、然ルニデス、政府ノ茲ニ出サレタ案ニ見ルト、益金ノ内カラ二億ノ金ヲ四十一年ニ出シテ、サウシテ改良費ニ充テルト云フコトデアルガ、此改良費ト云フモノ、中ニ先刻御尋シタコロニ依リマスルコト云フト、鐵道ヲ廣軌ニスル、若クハ延長スルコト云フヤウナ費用ガ、含著シテ居リマスヤウデゴザイマス、果シテ左様デアリマス致シマスルト、將來此貿易ノ發展ヲスルニ必要ナル新ナル鐵道ヲ敷設スルト云フコトハ、今ノコトデアラハ計畫ガナイト云フコトニ歸著スルデアラウト思フ、サウナルヤウニ思フ、ツレカラ縱シ此改良費ノ中ニ假リニ鐵道ヲ延長スル費用ガアルトシテ見タトコロガ、若クハ複線ニスル費用ガアルトシタトコロガ、最初ノ三年間ハマルデ一文モ見積リテナイデアルカラ、是ハ改良モシナイ、何モシナイト云フコトニナッテ居ルコトハ明瞭デアル、又其次ノ十年間ハ僅カ百万圓未滿が見積リテアル丈デアル、百万圓未滿デハ延長モ出來ナケレバ、複線モ十分ニスルコトハ出來ナカラウ、サウスルト先ツ三箇年間に皆無デアル、其向フ十ヶ年間に殆ド鐵道ノ延長ヲスルコトモ出來ナケレバ、複線ニスルコトモ出來ナイ、新ニ鐵道ヲ敷設スルコトモ出來ナイト思フデアリマス、隨分今マデ敷設サレテ居ラナイトコロデモ、將來之モ敷設スレバ、非常ニ國家ノ利益ヲナスコト云フ線路ハアルデアル、現ニ北陸沿岸線ノ如キ、之ヲヤッタナラバ、米原カラ青森マデノ里程ハ現在ヨリモ殆ド百六十哩モ近クナル、サウ云フ線路モアルカラ、十分ニ費用ヲ投シテ之ヲ敷設シタナラバ、國家戰後ノ經營トカ、貿易ヲ發展スル動機ニナル、所ガサウ云フコトハ總テ度外ニ置カレテ居ルヤウデアル、政府ハ果シテ茲ニ現ハシテ居ル表ノ通りデ、ツレヨリ敷設モシナイ、改良モシナイ、複線モ拵ヘナイ、ト斯ウ云フ將來ノ方針デアルカラ、ドウカ、之ヲ伺ヒタイ

○遞信大臣山縣伊三郎君 將來ノ計畫ニ付キマシテハ、是ハ別ニ調査シテ出ス積リデアリマスカラ、唯今御手許ニ差出シテアル公債償還年限計算表ノ中ニハ、其コトハアリマセヌ、是ハ唯是マデノ鐵道ハ買収シテ、サウシテ何年後ニ於テ之特別會計トシテ、公債ノ償還ガ出來ルヤ否ヤ、ツレカラ改良費ニドレ程ノ金ガ充テラレルト云フ計算ヲ現ハシタダケデアリマスカラ、唯今ノ御尋ノ如キ、是カラ先キ敷設スルモノニ付イテハツレハ是カラ先キノコト、シテ、豫算ニ現ハレル等ニナッテ居リマス

○加藤政之助君 尙モウ一ツ此鐵道買収ニ要スル公債償還ノ年限計算表ノ中ニ建設費トカ、或ハ建設費ニ對シ益金割合トカ、益金トカ、云フヤウナモノガ、總テ出デ居リマスルガ、是ハドウ云フモノヲ標準トシ、ドウ云フモノヲ基礎トシテ、此ノ如キ利益ガ出ルト云フコトニ御認メニナッタデアルカラ、其益金ノ割合ナリ益金ノ割出サレタ基礎ト標準トナッタモノハ、ドウ云フモノデアアルカト云フコトノ御説明ヲ聽キタイ

○遞信大臣山縣伊三郎君 唯今主任ノ者ヲ呼ビマスカラ……

○政府委員中小路廉君 加藤君ノ御問ニ對シテ御答致シマス、御問ノ要旨ハ此建設費ニ對スル益金ノ割合ハ、ドウ云フ標準ヲ見積リタカト云フ御尋デゴザイマシタガ、是

ハ參考書類ノ中ノ備考ニ掲載致シテゴザイマス通り、建設費ニ對スル益金ノ割合ハ、三十二年カラ三十六年ニ至ル五箇年間に開業線ノ各年數ニ對スル同年間ノ益金合計割合ヲ見積リマシタデゴザイマス、即チ〇八〇九ト、斯ウナリマス、之ヲ元ノ數ニシテ、ツレニ尙増進歩合ガ出マス、其増進歩合ハ明治二十七年カラ明治三十六年度ノ十箇年間ニ於ケル各年建設費ニ對スル益金ノ割合各前ニ對スル増減歩合ヲ平均シマシテ、茲ニ〇一四三ト、斯ウ云フ増進歩合出マス、是ガ詰リ各年毎ニ漸次増進シマスル歩合トナリマス、之ヲ最初ノ數ニ加ヘマシテ、サウシテ増進歩合ヲ出シマシタ、其増進歩合ハ一割三分ニ至ルヲ以テ、最高限度ト致シマシタ

○加藤政之助君 最高限度ハ一割三分デゴザイマスカ

○政府委員中小路廉君 左様デゴザイマス

○坂口仁一郎君 本案ハ重要ナル問題デゴザイマスカラ、質問ヲ要シマスル箇條モ澤山ゴザイマス、併シ其細目ニ互ルコトハ之ハ後日ニ致シマシテ、先ツ大體ニ付イテ私ノ疑ノアルトコロヲ質問致シタイ、全體ニ互リマスコトデスカラ、或ハ總理大臣カラノ説明ヲ得マシタ方ガ宜イモノデアリマスガ、要旨ヲ申上ゲマス、第一ニ御尋ネテ致シタイコトハ、先日本會ニ於テ總理大臣ノ演說サレマシタ中、此國有ト云フコトハ維新以來ノ主義デアアル、然ルニ民間ノ私設ニ許シタト云フノハ、ドウ云フ譯カト云フニ、其普及ヲ圖ルト云フコトガ一日モ忽ニスベカラザルコトデアルガ故ニ、又經濟ガ其實行ヲ許サナイタメニ、已ムヲ得ズ二十五年度ニ私設鐵道條例ヲ出シテ、其一部ヲ民設ニ許スト云フコトニシタ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、シテ見マスルト今日其敷設ヲ許シタモノヲ買上ゲルト云フコトニナリマスルト、今日ノ經濟狀態ハ好クナッテ居ル、政府ガ實行ヲ差支ナイ丈ニナッテ居ルカドウカ、私ノ見ルトコロニ依リマスルト、今日ノ經濟狀態ハサウデハナイト思フ、二十五年アタリノ狀態ハ僅ニ歲入歲出八千萬圓ノ小額デゴザイマスルガ、大キナ借金モナイデアラダ、然ルニ今日ハ動モスレバ五億ト云フ聲モ聞井ルト云フ程ニ、經濟ハ膨脹致シテ居リマスルガ、是ハ膨脹シタ丈デアアル、國力ヲ充實シタト云フコトハ出來ナイ、現ニ日露戰爭後ハ十八億ノ國債モアルト云フ始末ニナッテ居ルノミナラズ、戰後ノ經營ニ伴フ國力ノ充實、或ハ陸海軍ノ擴張ト云フヤウナコトニ付イテ、幾多ノ費用ヲ是カラ要サウト云フコトデゴザイマス、而シテ今日ハ其時機デアアル、而モ總理大臣ノ演說中ニハ、逸スベカラザル好機ト仰シヤッデアル、私ニハ其理由ハ分ラナイ、ドウ云フ理由デアアルカ、第一ニ之ヲ承リタイ、尤モ總理大臣ノ御演說中ニ、來年ニナルトイロノノ國防ノ經綸ヲシナケレバナラヌカラ、斯ウ云フコトヲスルト云フ説明ガアツタ、大石君ノ質問ニ對シテ——是等ガ或ハ一ノ理由デアアルカ知リマセヌガ、私ハサウ云フ意味ノ國防ノ經綸ト云フコトデアリマシタナラバ、一般政務ノ上ニ互ッテ居ルコトモゴザイマセウケレドモ、主トシテ陸海軍遞信省ノ管理スルコト、ハ、マルデ別デアアル、殊ニ五箇年ニ涉ッテ之ヲヤラウト云フコトデアラッテ見レバ、來年以後ハヤッテ居ラレナイト云ハレタコト、矛盾シテ居ルコト思フ、又何モヤルコトノ出來ナイコトハナイ、出來ナイト云フノハ能力ガナイデアアル、ツレ等ノコトハ少シモ理由ニハナルマイト思フ、他ノ相當ノ理由ガアラウト思フカラ、其理由ヲ伺ヒタイ、次ニ國有ト云フコトヲ斷行スルノハ、先刻ノ總理大臣ノ説明ニモアリマシタガ、民力ノ發達ヲ圖ルト云フコトガ第一ノ主眼ダト云フコトデアアル、民力ノ發達ヲ圖ルナラバ、鐵道ノ延長ト云フコトガ主ニナリ

ハシナイカ、私ノ考ニ依ルト、今日ハ鐵道ノ不統一ト云フ方カラ、イクラカノ不便モアルニハ相違ナイガ、ソレモ一般ノ國民ハ希望シテ居ルニハ違ヒナイガ、比較シテ見レバ、ソレヨリハ新規ニマダ敷設シナイ所ヲ敷設シ、延長シテ貫フコトガ、國民一般ノ希望アル、民力ノ發達ヲ圖リ、利源ノ開發ト云フコトガ、第一ノ急務デアラウト思フガ、其方ニ對スル政府ノ方針ハドウナルカ、多少ノコトハ政府モヤラレルト見エテ、今年アタリ實行サレル所モアルヤウデアアルガ、ソレハ富山直江津、僅カ六七十里ノモノヲ八箇年掛テヤルト云フ、コナ遅々タル有様デハ、戰後ノ經營ヲ圖ル上ニ於テ、民力ノ發達ヲ圖ルニイクラノ助ケニモナルマイト思フ、民力ノ發達ヲ圖ルニ云フナラバ、國有ト云フヨリハ、延長ト云フコトガ主ニナラナケレバナラナイ、言換ヘレバ二十五年ニ私設鐵道ヲ起シタ時分ト、今日ハマダ同ジ狀態ニアルト思フ然ルニ此方ノ方針ト云フモノハマダ十分ニハ立ッテ居ラヌヤウデアアル、然ルニ國有ヲ先キニスルト云フノハ、ドウ云フ理由デアアルカ、從テ未設線ニ對シテハ、ドウ云フ方針ヲ執ッテ居ルカ、是ガ質問ノ第二、ソレカラ未設ノ中ニモ鐵道法案ニ列舉シタルモノト、民設ニ許シタルモノト、今日買上ヲセラルル會社ノ中ニ、マダ幾分サヘ出來テ居ラナイノガアリ、幾分カ殘デ居ルノモ幾ラモアル、私ノチヨット考ヘテ居ルトコロデハ、東武鐵道ノ如キ、京都鐵道ノ如キ、岩越ノ如キ、何レモ一部分シカ出來ナイ、出來タモノハ買収モ出來ヤウガ、其殘リハドウスルカ、ソレハ買収法案ニモ何モ書イテナイ、是等ニモ方法ガ立ッテ居ルヤ否ヤ、ソレガ第三、ソレカラ其次ニ軍事上ニ付イテ、陸軍大臣ガ先刻説明ガアリマシタガ、チヨット聽漏ラシタ點モアルガ、大體ヲ申セバ、國防上カラ見テ各所ノ要所々々ニ鐵道ノ聯絡スルコトガ必要デアアルコト、ソレカラ各會社ガ分離シタルタメニ、軍事ノ輸送上一々協商ヲ經ナケレバナラヌト云フ不便ガアルカラ、統一ガ必要デアアルト云フ、大約是位ノコトシカナイ、統一ト云フコトニ付イテハ成程不便モゴザイマセウガ、併シハ私設鐵道法ニハ既ニ明文ガアル、法令ノ定ムル所ニ依ッテ兵時戰時ニ於テ鐵道ヲ軍用ニ供スル義務ガアルト云フナラバ、平素ニ於テ豫メソレハ條文ガアル、然ラバ軍用ニ供スルト云フ義務ガアルト云フナラバ、平素ニ於テ豫メソレソレ取調ラシテ、一旦事アルトキハ一片ノ命令次第ニ、十分ノ働キヲ爲サセルコトガ出來ル、必シモ一々協商スル必要ハナイト私ハ考ヘル、而シテ各地ノ要所々々ノ聯絡スルコトガ必要デアアルト云フコトデアアルガ、是モ尤モデアアリマシタガ、ソレガ尤モデアアルト云フナラバ、寧ろ統一ト云フヨリハ、前ニ申シマス通り鐵道ノ新ニ延長スルト云フコトガ、必要ニナリハシナイカ、然ルニソレヲ措イテ、統一ヲ主トスルト云フハ、其理由ガ私ニハ分ラナイ、モウ一ツ是ハチヨット私ハ先刻疑フ起シタノデゴザイマシタガ、大藏大臣ノ説明中ニアッタ、參考書ニ示ス如ク、四十箇年間ニ買収ノ費用ト云フモノヲ悉ク償却シタリトスレバ、年々五千萬圓ト云フモノガ收入ニナルデアアル、此計算ニシテ誤リガナケレバ、此公債ニ付イテ何等ノ危惧モナイト云フコトデアッタ、ソコデ直グニ加藤君ノ問ニ對シテ、大藏大臣ノ答ヘラレタコロヲ見ルト、改良費償還トノ收支ノ未定ナルモノガアル如クデアッタ、シテ見レバ四十箇年ニシテ償還ヲ終ルト云フ、是ハ甚ダ正確ナルモノナルヤ否ヤト云フコトハ、マダ十分ニ調査ヲ經ナイモノマデモ加ヘテ居ルコトハ分ル、收益ノ三分ヲ改良費ニ充テ、七分ヲ國債ノ償還ニ充テルト云フ、大體ノ大綱ミノモノデアアルカラ、之ヲ實行シテ往クト云フトキニナルト、或ハ此以上ニ改良上ニ幾多ノ費用ヲ要スルコトニナッテ、

參考書通りノ計算ニハイカヌコトニナリハセヌカ、甚ダ疑フベキデアアル、最後ニモウ一ツ先刻ノ總理大臣ノ演說中ニモアッタガ、此國有ト云フコトハ戰後經營ノ基礎ニ致シタト云フ、ソレハドウ云フコトデアアルカト云フト、先カラ申シマスルヤウニ、今日ニ於キマシテハ寧ろ私ハ新設——未設線ニ力ヲ入レル方ガ宜イト思フガ、假リニ一歩ヲ讓デソレハ措クトシマシテモ、國民ノ希望致スコロハ寧ろ統一ト云フコトニアル、政府ニ於テモ民業ノ發達ヲ圖ルト云フコトナレバ、統一ト云フコトニシナケレバナラヌ、國有ト云フコトハ決シテ民業ノ發達ニ益ナルモノデナイ、即チ統一ガ民業ノ發達ニ益アルノデス、統一ハ官民共ニ其希望ヲ懷イテ居ルノデ、併ナガラ今日マデ實行サレズニ居ルノハ、甚ダ遺憾デアリマスガ、此統一ヲ圖ルト云フノハ必シモ國有デナクテモ出來ルコト、思フ、既ニ鐵道法ノ六十何條カニ、列車ノ種類、發著ノ度數、ソレ等ニモ政府ガ命令ヲ以テスルコトガ出來ルコトニナッテ居ル、客車等ノ聯絡輸送ト云フコトモ命令ヲスルコトガ出來ルヤウニナッテ居ル、總テノ監督ノ權利ヲモウ少シ擴張サレテ遺ルコトデゴザイマシタレバ、此統一ハ自カラ出來ルト思フ、又賃錢モサウ政府デ一々上ゲルナリ下ゲルナリ、當局者ノ許可ヲ得ナケレバナラヌノデ、從テ之ニ對スル監督權ヲ持ッテ居ル以上ハ、或ハ現行法デハ出來兼ネルカ知レヌガ、多分法律命令ヲ改正サレマシタナラバ、是等ノコトハ夫ニ政府ノ監督權ヲ以テ實施シテ往クトハ出來ヤウト思フ、或ハ進ンデ各會社ヲ合同サスルトモ、政府ノ方針ノ立方デ實行ガ出來ヌコトハナイ、或ハ官民合同ノ「トラス」ヲ組織スルモ一ツノ方法デ、統一ヲ計ルナラバ、必シモ國有ニアラズトモ宜シイト思フ、要スルニ今日ノ鐵道國有ハ或ハ私權ノ侵スルコトヲ議論モアッタ、是ニ付イテハ私モ一ツノ疑ヲ持ッテ居ルガ、兎ニ角斯ウ云フ疑ノアル位ノモノヲ強イテ、斷行サレズトモ、他ノ方法デ補フコトハ出來ルト思フ、之ニ力ヲ盡スヨリハ、新設線ニ力ヲ盡シタ方ガ、民業ノ發達ニ利益アリ、軍事上利益ガアルト思フ、此法案ノ精神ヲ考ヘルト、或ハ本末ヲ轉倒シテ居ラヌカト考ヘマスカラ、以上ノ點ニ付イテ一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤政之助君 大藏大臣ガ出テ居ラレマスカラ、私ノ質問ニ對スル御答ヲ先キニ願ヒタイ

○委員長長谷場純孝君 坂口君ノヲ濟マシテカラ……

○遞信大臣山縣伊三郎君 唯今御尋ノ第一ノ點デアリマスガ、是ハ財政上ノ主義如何ト云フコトデアリマスカラ、大藏大臣ヨリ御答ニナルコト、存ジマス、ソレカラ第二ノ統一ヲ計ルヨリモ未成線——是迄デノ計畫シテ居ルトコロノ豫定線ナドヲ先キニシタ方ガ、産業ノ發達ヲ計リ、貿易ヲ獎勵スル上カラ當然デアルト思フト云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、是ニ對シテハ先刻加藤君ニ御答シタヤウナ譯デアリマシテ、茲ニ出シデアリマスルトコロノ計算書——此計算書ハ買収シタ鐵道ノ事ニ付イテ式ノモノデアリマシテ、此計畫ハ將來ドウ云フ具合ニ敷設ノ方法ヲ取ルカト云フコトハ、別ニ計畫スル積リデアリマスカラ、自然此統一ト將來敷設シテ往クト云フコトハ、別ニナルモノト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラソレニ付イテ先刻加藤君ニ御問ニ、改良費ナド、云フモノモ未定ノモノデアッタ、甚ダ不明デアルト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、是ハ唯今申上ゲマシタ通り、此從來ノコトヲ詰リ計算ニ見積ッテ居ルノデアリマスカラ、果シテ是程ノ改良費デ往クヤラ、改良費デ往カヌカ、其邊ハ分リマセヌガ、兎ニ角算盤ノ上デハ既往ノモノニ

依ッテ算出シタノデアリマスカラ、別段ツレ程ノ間違ヒハナイと思ヒマス、ツレカラ最後ノ御尋ハ是ハ少シク御議論ノヤウニ聞エマシタノデスガ、政府デハ鐵道統一ト云フコトハ、國有ニシテ方十分統一ガ出來ル、又此主義ニ從ッテ此案ガ出テ居ルノデアリマスカラ、他ノ「トラス」ナドノ方法ヲ以テ統一スルコトハ出來ルデハナイカト云フ、斯ウ云フコトハ坂口君ノ御議論デアリマセウと思ヒマス

○坂口仁一郎君 モウ一ツ落チテ居ル、此買收ナル會社ノ未成線ノモノガ澤山アル、其未成線ニ對シテドウ云フ買收ヲセラル、カ之ニ付イテノ御答辯ガ落チテ居リマス

○逓信大臣山縣伊三郎君 未成線ニ對シテハ、此法案ノ第二條ノ二項ニ書イテアリマス通り……

(「ツレハ違フ」ト呼フ者アリ)

○政府委員仲小路廉君 唯今ノ御尋ニ御答致シマスガ、會社ノ未成線ニ付キマシテハ、唯今逓信大臣カラ述ベマス通り、尙將來延長致シマス線ト同様ニ之ニ對シテハ別段ノ計畫ヲ立ツル積デアリマス、是ハ詰リ財政上ニ直接ノ關係ヲ持チマスノデ、逓信省トシテハ茲ニ將來計畫スベキ方案ハアリマスガ、併シナガラ之ヲ實行スルニ付イテハ財政ニモ關係致シマスカラ、是ハ更ニ相當ノ時期ニ於テ提案ヲ致スコトニナルダラウト思ヒマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 先刻加藤君ノ一番末ノ御問ニ御答致シマス、外國人ガ公債ヲ買フコトハ、今ノ從來ノ關係ニ付イテ、關係外國人ガ鐵道ノ株ヲ買ヒマスレバ矢張同ジコトニナル、唯舊債償還ノ分、ツレカラ尙他ノ會社ヲ合併スル社債ヲ募ッテ居ル、又其中ニ新タニ改良スル部分ガアル、其新タニ改良スル部分ガアルト云フ御尋ハ、今丁度逓信大臣ヨリノ未成線ノ御答ト同様、將來ノコトデアリマスガ、私ノ方ノ鐵道ノ改良デナク、舊債ヲ償還スル、若クハ他ノ會社ヲ合併スルト云フコトニ使フ資金ハ、是ハ鐵道公債ト同ジ關係ヲ持ツト考ヘマス、ツレカラ坂口君ノ營業上ノ時期デ、二十五年ト今日トハドウ違ッテ居ルト云フコトニ付イテハ、二十五年ハ餘程困難ト思フ、今日ハ市場ガ廣クナッテ居ッテ、内外資本ノ共通モ十分發達シテ居リマスカラ、市場ノ力ガ非常ニ違ヒマス、勿論極ク泰平無事ノトキニ鐵道ノ改良ナドト云フコトガアレバ——市場ニ力ガ出來他ニ問題ガ無イ場合ニ實行スルハ、ツレハ希望デスガ、先刻申シタ通り經濟上ニ是ガ必要ナリトスレバ、今日之ヲ行ハザルヲ得ヌコトニナルト思フ、年ガ經ッテ買フコトハムツカシクナル、價ガ段々金利ニ伴ッテ高クナッテ、鐵道ノ益ガ殖ヘ、金利ハ高クナルト、之ヲ買フ代價ハ餘程年々殖ヘテ來ルコトニナリハセヌカト考ヘマス、サウスレバ一面ニ於テ經濟上根本政策トシテ今日之ヲ行フ必要ガアルトスルナラバ、今日買フコト云フコトガ時機デアラウト考ヘラレマス、サリナガラ前モ申シマス通り、今日直チニ之ヲ實施スルコト云フコトニ付イテハ、イロ／＼公債其他ノ關係モアルカラ、法律ニ於キマシテ即チ五箇年ノ猶豫ヲ取ッテ、此間ニ市場ノ亂サヌヤウニ實施スルコトニナッテ居リマスカラ、財政ノ當局者ニ於キマシテハ、非常ニ是ハ便利ヲ得テ居ルコトニナル

○加藤政之助君 今ノ大藏大臣ノ答辯ハ私ノ質問ニ對シテ要領ヲ得ナイ、大藏大臣ハ是ハ外國人モ買入レテ居ル、サウスレバ公債ヲ出シテモ其公債ハ同ジコトデナイカト云フ、先程ノ説明デアル、ツレニ對シテ私ハドウモ相當シナイ答辯デアルト云フコトデ御尋シ

タ、ナゼナラバ外資ヲ入レルト云フコトガ、成程今ノ大藏大臣ノ御話ノ通り舊債償還ト云フヤウナモノノタメニバカリ入レル外資ナラバ、大藏大臣ノ御答辯ノ通りデアリマス、所ガ是ハサウデナイ、新ニ改良スル、若クハ線路ヲ別ニ造ル、若クハ會社ヲ合併スルト云フコトデ、外資ヲ入レルナラバ、是ハ富ガ新ニ生ズルデアル、此外資ノ這入ッタタメニ新ニ富ガ生ズル、新ニ富ガ生ズルモノト、既ニ富ガ生シテ居ル現在ノ鐵道ヲ買ッテ、其公債ヲ外國人ガ買フコト云フコトハ關係ガ違フデアリマス、此點ガ大藏大臣ノ答辯ガ、ドウモ能ク分ラヌト思フ、ツレカラモウ一ツハ此株券ヲ買フコトハアルカモ知ラヌケレドモ、株券ヲ買フヨリハ今ノ如キ計畫デ以テ、公債ヲ五箇年ニ五億募ル、サウシテ鐵道ヲ買上ゲルコトニナレバ、公債ノ販路ガ多クナルカラ、從ッテ直段ガ下ル、是ハ經濟上自然ノ數デアル、サウスレバ利益ガ多クナルカラ、今ノ現在ノ株券ニ付イテハ外國人ガ餘リ買フ希望ハ持タナクテ、此公債ガ下落シテ今迄ヨリ宜クナッタ結果、此公債ヲ餘計外國人ガ持ッ結果ヲ生ズル、サウスルト之ニ對シテ正貨ノ利拂ヲセンケレバナラヌ、ツレガ餘計ニナッデ——即チ外國人ガ日本ノ正貨ノ外國ニ持ッテ往クコトガ、餘計ニナルト云フト、從ッテ兌換制度ヲ危ウスルコトニナルノハ、自然ノ結果ト思フ、ツレバ大藏大臣ガ混同サレテ答辯サレタカラ、ツレバ御尋シタノデアル

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 社債ノ方ノ御話ハ今申シマシタ通りニ、會社ヲ合併スル、舊債ヲ償還スルコトハ——改良スル分ニ付イテハ御說ノ通り幾分ハ改良スルモノガアルニ相違ナイ、ツレハ逓信大臣ガ答ヘラレタ未成線ノ問題ト關係ガ同ジコトデアル、加藤君ノ更ニ進ンデノ御尋ハ、公債ガ下落スルコト云フコトヲ述ベテ御尋デアリマス、私ハサウハ見ナイ、即チ市場ノ景況デ以テ、公債ヲ發行シ、若シ下落スルナラバ、ツレヲ買フ手段ガアル、然ル以上ハ公債ハ下落セヌモノト假定センケレバナラヌ、而シテ株ヲ西洋人ガ持ッテ往ク場合ハ、ヨリ多クノ配當ヲ取ラレルコトニナル、公債デアルナラバ、一定ノ率シカ取ラレルカラ、正貨ノ收支ノ上ニ於テハ、然程違ヒハナイ、斯ウ云フ譯ニナッテ來ル

○加藤政之助君 尙御尋スルガ、今ノデ見ルト大藏大臣ハ其公債ガ下落セナイト云フコトノ定義デ言ハレルガ、下落シナイコトハドウシテモ保證ガ出來ナイ、若シ下落シナイコトヲ保證サレテ、政府ガ買上ゲルコト云フコトデアリマスナラバ、是ハ政府ガ相場ヲシテ無理ニ公債ヲ引上ゲテ置クカラ差支ナイト云フ御答辯ニ相成ルデアリマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ツレハ御議論ニナリマスヤウデゴザイマス、斯ウ云フ大事業ヲスルニ付イテハ内外ノ狀勢ヲ能ク計ッテ、公債ノ下落セヌカラ政府ハ持ッテ掛ルノデゴザイマス

○委員長長谷川純孝君 皆サンニ御諮リシマスガ、委員中ニ今日ハ他ニ御約束ガアッテ、大分御差支ノ御方モアルサウデアリマスカラ、是デ延會シタラドウデセウ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○金岡又左衛門君 私ハ次回ノ委員會ニ總理大臣ノ出席ヲ求メタイコトガアリマスカラ、特ニ委員長ヨリ政府ニ請求サレンコトヲ希望致シマス

○委員長長谷川純孝君 次ノ會ハ明日午前十時カラ開カウト思ヒマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後一時五十七分散會